

# 一類感染症受け入れ体制整備研修会についてのアンケート 集計結果

開催日:平成 11 月 14 日(東京)、11 月 29 日(大阪)

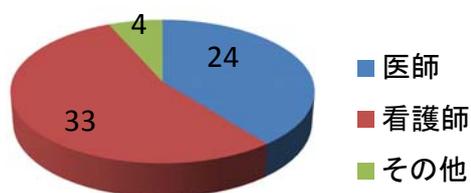
参加者: 医師、看護師、その他(検査技師、事務、行政など)

|           | 東京    | 大阪 |
|-----------|-------|----|
| 参加人数      | 68    |    |
| アンケート回答人数 | 61    | 75 |
| アンケート回収率  | 89.7% |    |

## 1. 職種

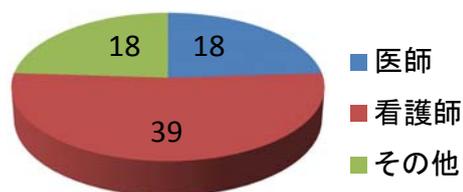
回答職種別:東京

N=61



回答職種別:大阪

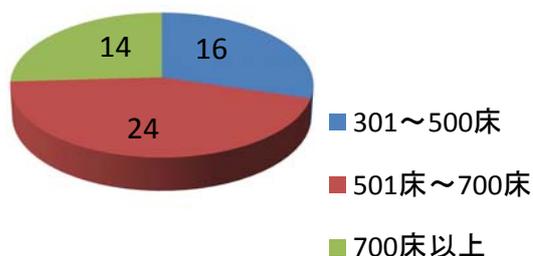
N=75



## 2. 病床数

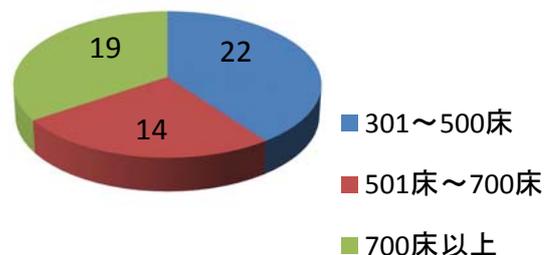
回答病床数:東京

N=61



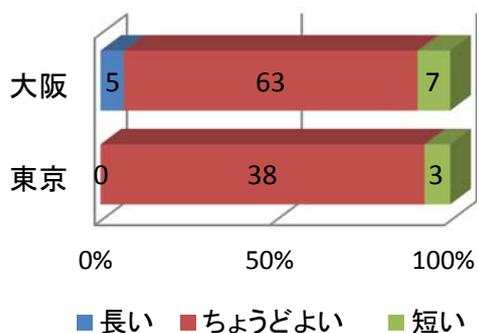
回答病床数:大阪

N=75

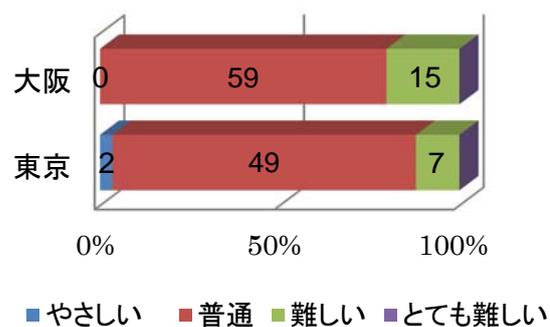


## 3. 今回の研修について

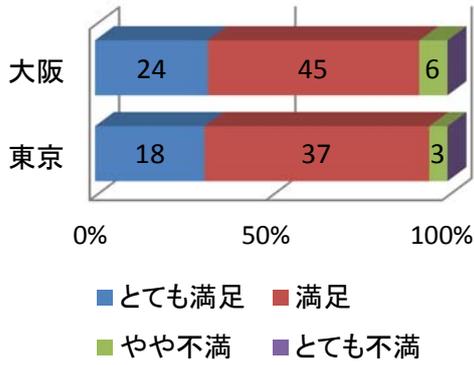
研修時間



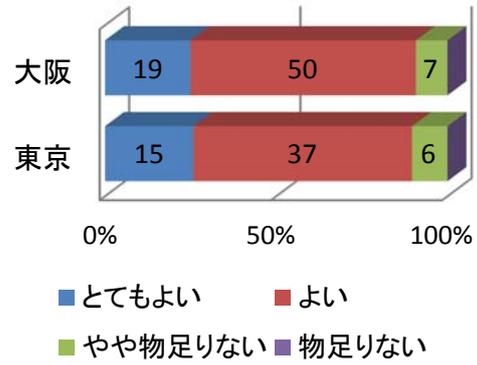
研修の難易度



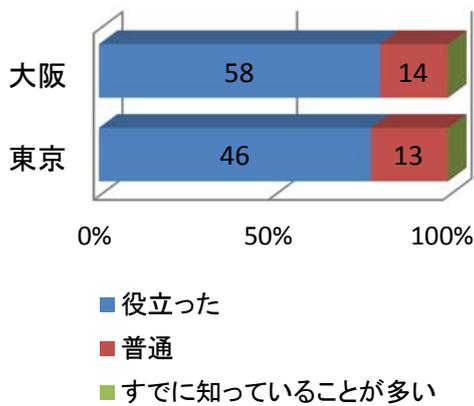
### 研修満足度



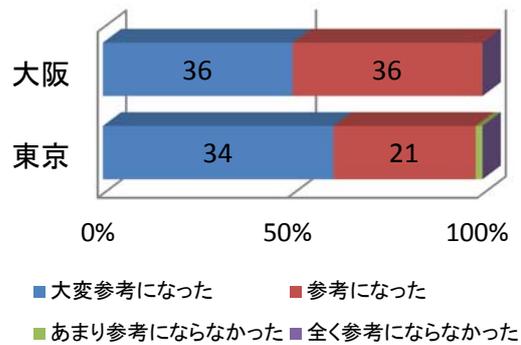
### 研修資料



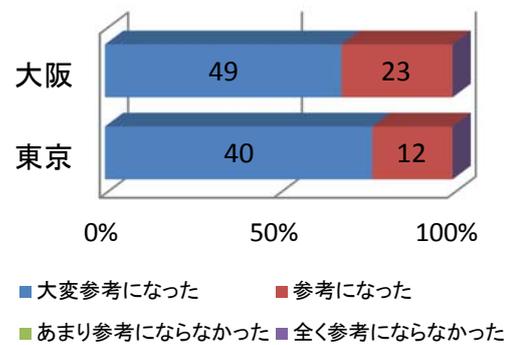
### 研修内容



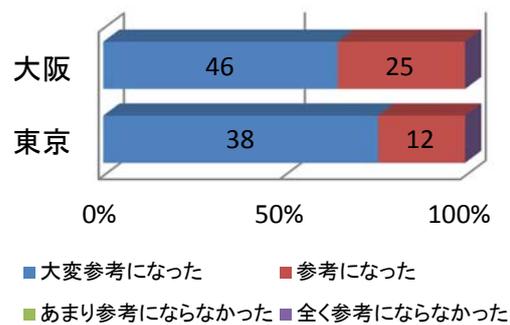
### 講義1~6



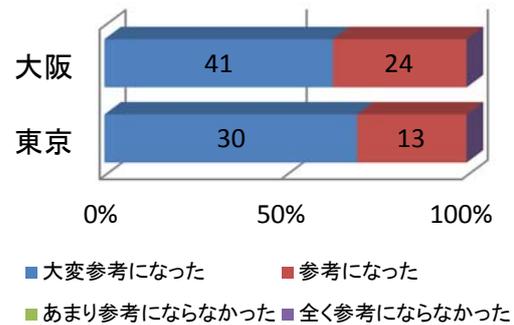
### 事例紹介



### 演習



### ワークショップのまとめ



## 自由意見

今回の研修会に参加して、よかったこと、物足りなかったこと、今後のワークショップ等でとりあげてほしい欲しい内容など、研究班に対する要望など

### 【東京】

#### ○研修会に関すること

- ・参加者名簿を作成してほしい
- ・受け入れ病院の話を聴いて、想定していなかったことに気づけた。  
実際に使えるマニュアルの改訂を目指したい
- ・グループワークがあったらよかった
- ・PPE について具体的な製品の比較などの検証があればよかった
- ・検査部門の研修もお願いしたい
- ・行政の参加も必要だと思った
- ・厚労省・行政の参加も必要
- ・今後もディスカッションできる場がほしい
- ・各施設の現状（体制）がわかり、有意義だった
- ・職種別のディスカッションがあればよかった
- ・管理者向けにも研修してほしい（人員など）
- ・検討事項を事前にアンケート配信し、みれる場にしてほしい
- ・PPE 着脱についてもとりあげてほしい
- ・新たな知見や事例の発表などの情報を定期的にアナウンスしてほしい

#### ○実務に関すること

- ・アイソレーターの型（車椅子、ストレッチャー）は研究班でオーソライズした方が良い
- ・擬似症患者の受け入れをした際、必ず厚生労働省のリエゾンがくるような手引きにしてほしい
- ・保健所マニュアルもほしい

#### ○その他

- ・初期対応のフロー図、チェックリストを各病院で使えるようなひな形を公開してほしい
- ・一類感染症に関する最新の情報のサイト一覧がほしい
- ・PPE の着脱の教育者の養成コースをつくってほしい

## 【りんくう】

### ○研修会に関すること

- ・アクセスの良い場所をお願いしたい
- ・前回よりも充実した内容だった
- ・廃棄物処理の詳細や人員など、マニュアルに記載されていないことを知ることができた
- ・一類 WS で PPE の着脱もしてほしい
- ・診療・ケアのフローを見直し、より安全で効率的な方法と訓練を続けていきたい
- ・自治体側の WS もあればよいと思う
- ・病院の意見や課題を聴く機会となり、有意義だった
- ・受け入れをした病院の体験が参考になった
- ・他施設の対応や経験からわかった問題点や良かった点が聴けたので参考になった
- ・意見交換が参考になった
- ・ざくばらんにディスカッションできるよう、ランチョン形式をとってはどうか
- ・今後も年 1 回程度開催してほしい
- ・行政と意見交換ができてよかった
- ・もっと意見交換したかった
- ・具体的な内容が学べた
- ・体制の見直しの参考になった
- ・どの病院も同じ悩みを抱えていることがわかった

### ○実務に関すること

- ・受け入れのマンパワーの問題。人員のやりとりについて考えてほしい（みなし公務員など）
- ・自施設で対応できるマンパワーは 1 週間程度である
- ・受け入れ、治療の集約化を強く希望する
- ・検査について統一的なものがないので、指針が欲しい
- ・労務管理や補償について、現状より善処を望む

### ○その他

- ・相談窓口やネットワークづくりをすすめてほしい
- ・国の明確な方針が示されていないため、各病院が苦勞している
- ・スタンダードな基準を出してほしい（隔離解除基準、検査、機器、治療など）

2014年(先進国でのEVD二次感染事象発生時)と現在(2016年11月)での体制整備について該当するものに○をしてください

東京

|                   | 良くなった | 変わらない | 良くなった場合、具体的にどう変化したか  |
|-------------------|-------|-------|--|
| マニュアル             | 31    | 10    | 新たに作成した、改訂した、実践に耐えるマニュアル、具体的にになった、消毒薬を変更した                       |
| 管理体制              | 11    | 28    | 組織が意識するようになった、組織図の改善をした  |
| 人員体制              | 17    | 25    | 配属部署以外の人員体制ができた、医師が増えた、看護師が2名体制になった                              |
| 設備(病室・前室)         | 11    | 30    | 壁面を拭きやすいものに変更した、空調の改修をした、鍵をつけた                                   |
| 通信環境              | 11    | 29    | インカムを購入した、モニターの精度がよくなった、iPadを購入した、病室内に設置できた、ネット環境が改善された、PHSを購入した |
| 機器整備(モニターなど)      | 14    | 28    | X線のポータブルの購入、透析機器の購入、血圧計の購入、心電図モニターの購入など                          |
| 検査機器              | 22    | 20    | 機器が整備された(CBC、生化学)、機器を更新できた、安全キャビネットの購入、LAMP法機器の購入                |
| 試薬                | 14    | 25    | マリアキットの整備、デングキットの整備ができた  |
| 検査体制              | 14    | 26    | 病室内での検査が可能になった   |
| 防護具(購入、メンテナンスも含め) | 24    | 17    | 自治体からの支援、PAPRの補助、質の良いPPEになった、自治体でアイソレーターを購入                      |
| 納体袋、納棺            | 15    | 24    | 火葬場・遺体搬送業者の体制が行政とできた   |
| 移送体制              | 16    | 24    | 行政との連携ができた、消防隊と協定ができた  |
| その他               | 1     | 8     | 職員の意識の変化、すべてにおいて具体的な想定が進んだ                                       |

大阪

|                   | 良くなった | 変わらない | 良くなった場合、具体的にどう変化したか、WSの参加で改善した   |
|-------------------|-------|-------|--|
| マニュアル             | 18    | 6     | 詳細内容の見直し、全面改訂、具体的なマニュアルになった、感染管理室を中心に患者受け入れから退院までのマニュアル修正を重ねた、現実的なマニュアルに改訂された  |
| 管理体制              | 14    | 9     | 管理者の意識が高くなった、連絡体制の変更、担当者が明確になった、管理部門の関わりが向上したエボラ対策チームの構築がされ新たに組織体制ができた         |
| 人員体制              | 3     | 20    | 人員が増加した  |
| 設備(病室・前室)         | 6     | 16    | 規定の陰圧が確保可能になった、  |
| 通信環境              | 8     | 14    | FAXの整備、患者と会話のできるモニターの整備、タブレットを購入した、一類病室に監視カメラを設置した                             |
| 機器整備(モニターなど)      | 6     | 16    | 新しいモニターを購入した   |
| 検査機器              | 11    | 10    | 補助金で準備できた、生化学検査機器をレンタルしており、患者受け入れ時にも使用する、機器の増加、<br>災害用の検査機器を購入した、安全キヤビネットを購入した |
| 試薬                | 9     | 12    | 補助金で準備できた、更新された  |
| 検査体制              | 9     | 12    | 補助金で準備できた、追加された、予算がついた、検査部門の意識が向上した  |
| 防護具(購入、メンテナンスも含め) | 14    | 9     | 見直しを行った、品目の増加、更新時に質の良い製品に切り替えた、予算がついた、在庫整理や期限管理等の確認を徹底した、行政より支給がある             |
| 納体袋、納棺            | 7     | 15    | 老朽化しており買い換えた、準備できた、予算がついた、マニュアルが整備でき訓練を実施した                                    |
| 移送体制              | 10    | 12    | 行政が繰り返し訓練している、行政が積極的にになった、アインレーターを購入   |
| その他               | 4     | 5     | 保健所や検疫などの共同して行政訓練や話し合いを持てるようになった   |

ご遺体のケアについて  
設問

1) 遺体対応の訓練をしていますか？

① 行った ②行っていない (今年度実施予定 次年度実施予定 計画していない)

2)患者が亡くなった場合の対応について、行政との会議を行いましたか？

① 行った ②行っていない (今年度実施予定 次年度実施予定 計画していない)

3)ご遺体の移送会社や火葬対応の施設は決まっていますか

決めている ②決まっていない (今年度決定予定 次年度決定予定 何も決まっていない)

東京

|                     | ①行った | ②行っていない | 今年度実施予定 | 次年度実施予定 | 計画していない |
|---------------------|------|---------|---------|---------|---------|
| 1) 遺体対応の訓練          | 3    | 48      | 4       | 4       | 21      |
| 2) 患者逝去時の行政との会議     | 17   | 34      | 0       | 3       | 16      |
| 3) ご遺体の移送会社や火葬対応の施設 | 9    | 43      | 2       | 3       | 18      |

大阪

|                     | ①行った | ②行っていない | 今年度実施予定 | 次年度実施予定 | 計画していない |
|---------------------|------|---------|---------|---------|---------|
| 1) 遺体対応の訓練          | 6    | 32      | 6       | 2       | 14      |
| 2) 患者逝去時の行政との会議     | 8    | 27      | 5       | 2       | 9       |
| 3) ご遺体の移送会社や火葬対応の施設 | 8    | 25      | 4       | 0       | 12      |